

しえかん広報

(資源エネルギー環境広報)

令和元年10月号 (2019.10.10発行)



しえかん広報は、北海道経済産業局HPにも掲載しております。
HPではバックナンバーもご覧いただけます。
<https://www.hkd.meti.go.jp/hokpp/kankoho/index.htm>



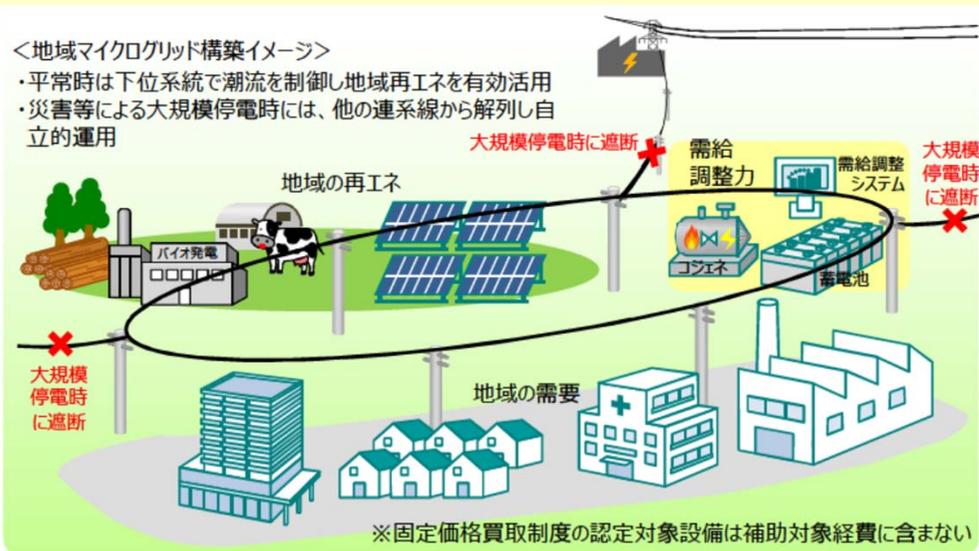
【お問合せは】北海道経済産業局 資源エネルギー環境部 総合エネルギー広報室
TEL:011-709-2311(内線:2634) E-mail:hokkaido-sogoenergy-koho@meti.go.jp

「地域マイクログリッド」ってなに? ~分散型電源で“エネルギーの地産地消”~

皆さん、「マイクログリッド (microgrid)」という言葉に耳にしたことはありますか? 直訳すると、「micro=極小の」、「grid=送電網」となります。

限られたコミュニティの中で、太陽光発電やバイオマス発電などの再生可能エネルギーで電気をつくり、蓄電池などで電力量をコントロールし、当該コミュニティ内の電力供給を賄うことのできる = エネルギーの地産地消ができるシステムを「地域マイクログリッド」と呼んでいます。

「地域マイクログリッド」は、バイオマスなどの地産地消型再生可能エネルギーの導入を促進させるとともに、地震や台風などの災害により停電が発生した場合には、平常時は電力会社等と繋がっている送配電ネットワークを切り離し、地域単独のネットワークに切り替えることで安定的に電力の供給ができる、災害時にも活躍するシステムです。



今月は、経済産業省の支援を活用し、北海道内で「地域マイクログリッド」の構築に向けたマスタープランを作成している自治体をご紹介します。



● 釧路市阿寒町

阿寒町は酪農が盛んな町。昨年のブラックアウトでは、生乳の廃棄や搾乳できないため牛が細菌感染して疫病(乳房炎)が発生するなど、大きな打撃を受けた。地震や非常時にも安定的な電力供給ができるよう、太陽光発電と家畜のふん尿を利用したバイオガス発電を活用した地域マイクログリッドの構築を目指す。

● 鶴居村

鶴居村では酪農が基幹産業。一年中搾乳を継続しなければならない状況下、災害による電力供給の停止は酪農家にとって死活問題。住民の生活と基幹産業を守るため、酪農業から発生する乳牛のふん尿を利用したバイオガス発電を活用した地域マイクログリッドの構築を目指す。



● 上士幌町

酪農が盛んな上士幌町。昨年のブラックアウトでは、乳牛へ飼料を与えるのが遅れ乳量が低下したことによる経済被害も発生したほか、通信障害により地域への情報伝達にも影響が出た。畜産業への被害防止や町の防災拠点機能の維持のため、太陽光発電とバイオガス発電を活用した地域マイクログリッドの構築を目指す。

● 石狩市

石狩湾新港は、災害時の海上輸送の重要拠点として指定されており、道内でも有数のエネルギー、物資の供給拠点となっているが、バックアップ電源の整備は未だ十分ではない。太陽光発電を活用して、非常時には港湾施設及び近隣の関連企業の施設に電力を供給できるよう、地域マイクログリッドの構築を目指す。



住宅用太陽光発電の固定価格での買取期間が、 2019年11月以降順次、満了いたします。

固定価格買取制度 についての大切なお知らせ

2009年に開始された買取制度は、太陽光発電で作られた電力のうち、
余剰電力が買取対象となる制度です。



住宅用太陽光発電の余剰電力は、固定価格での買取期間が10年間と定められていることから、
**2009年11月に開始した余剰電力買取制度の適用を受けた方については、
2019年11月以降、10年間の買取期間を順次満了していくことになります。**

※ 2009年12月より売電開始した方は2019年12月、2010年1月より売電開始した方は
2020年1月に買取期間が満了するなど、売電開始時期によって買取期間満了時期は異なります。

以降の余剰電力の用途（買取期間満了後の選択肢）

① 自家消費

電気自動車や蓄電池・エコキュートなどと
組み合わせて自家消費



昼間に発電して、電気製品などの電力に使用しつつ、余った電力を蓄電池に貯めることで、夜間に使用することができます。
また電気自動車は充電することで、自動車の動力としてだけでなく、家庭の電気製品などの電力として使用することができます。

② 相対・自由契約

小売電気事業者などに対し、
相対・自由契約で余剰電力を売電



従来通り小売電気事業者などと個別に契約し、余剰電力を買い取ってもらうことができます。
今後様々な事業者から発表される買取メニューをご確認いただき、買取期間の満了までに、ご自身の希望に合うプランを選択してください。

詳しくは資源エネルギー庁・住宅用太陽光設備の買取期間満了に関する情報サイト(どうする?ソーラー)またはお問合せ窓口まで

住宅用太陽光設備の買取期間満了に関する情報サイト
どうする?ソーラー



お問合せ窓口

0570-057-333

受付時間 平日 9:00~18:00(土・日・祝日、年末年始は除きます)

※情報サイト「どうする?ソーラー」には、「売電できる事業者一覧」等も掲載しております。

<エネルギー対策課>

「これからのエネルギーを考える2019」地域セミナー ～今年道内6地域で開催します～

北海道経済産業局は、北海道庁と連携し、国や道のエネルギー政策や取組を通して、我が国及び北海道におけるエネルギーの現状や目指すべき将来の姿について、道民の皆様とともに考えていくためのセミナーを開催します。

開催地	日時	場所	定員
札幌市	10月28日(月) 14:00~15:30	TKP札幌ビジネスセンター (札幌市中央区北3条西3丁目)	100名
釧路市	10月31日(木) 15:00~16:30	釧路市交流プラザさいわい (釧路市幸町9丁目1)	50名
岩見沢市	11月7日(木) 14:00~15:30	空知総合振興局 (岩見沢市8条西5丁目)	50名
函館市	11月11日(月) 15:00~16:30	渡島総合振興局 (函館市美原4丁目6-16)	50名
室蘭市	11月14日(木) 13:30~15:00	胆振総合振興局 (室蘭市海岸町1丁目4番1号)	50名
稚内市	11月21日(木) 14:30~16:00	宗谷総合振興局 (稚内市末広4丁目2-27)	50名

【プログラム・説明者】

■ これからのエネルギーミックスについて（第5次エネルギー基本計画 ほか）
札幌会場：資源エネルギー庁 資源エネルギー政策統括調整官 寛道 崇文
その他の会場：経済産業省北海道経済産業局 資源エネルギー環境部

■ 北海道における新エネルギー導入拡大の取組、節電の取組、停電時の備え
北海道 経済部 環境・エネルギー室

※その他の詳細、申込方法等は以下のURLをご覧ください。

<https://www.hkd.meti.go.jp/hokpw/20191001/index.htm>

<総合エネルギー広報室>



編集後記

お久しぶりです！1ヶ月ぶりの編集後記です。先月号からこの広報誌の名前が「資源エネルギー環境広報(資工環広報)」から「しえかん広報」に変わりました！気付いた方も、万が一気付いてない方も、今後ともよろしくお願いいたします。さてさて、秋ですねえ。食欲の秋。食べ物が美味しくなると…お酒も美味しくなりますよね～(個人の感想です)。秋刀魚の塩焼きにビール、アジのなめろうに日本酒、ナス、きのこ、かぼちゃ、ビール、焼酎、日本酒、ワイン…ああ、秋ってすばらしいですね！(米谷)

